

18年度同窓会ガイダンス講演内容

KDDI テクニカルエンジニアリングサービス仙台支店の長です。

2000年春にこちらを卒業しましたので、皆さんよりも7つ先輩ということになるかと思います。本日は縁あって、この場でお話しさせていただくこととなりました。よろしくお願いします。さて、まずは私自身と仕事についてご紹介させていただきます。

電波の本科を卒業したのは先ほど言ったとおり2000年の春でした。R科卒です。就職先は、今はなき「東北セルラー電話」という地元の携帯電話事業者でした。皆さんの世代はセルラーと聞いてもピンとこないかもしれませんが、今で言うKDDI-auの前身会社です。

当時、今のauはDDIセルラー・IDOグループとして全国9つの会社に分かれてました。auとしてブランド統合したのが2000年7月、DDIセルラーグループの合併によるau株式会社設立が2000年11月、先に3社合併をおこなって発足したKDDIに吸収されたのが2001年10月・・・。

入社した直後にグループ会社再編となり、気がついたときにはKDDIだったわけです。このおかげ？でおもしろいことになりました、会社の同期に電波の同級生が自分を含め3人もいます。DDI入社、IDO入社、セルラー入社の3名の同級生が。いまのKDDIの若手に電波卒が沢山います。

会社名はどんどん変わりましたが、自分の実務内容は入社以来、大きく変わっていません。一言で言えば、事業用通信設備の運用・保守を実務としてます。

さて、携帯電話事業者に技術者として入社したので、当然のように無線アクセスの部分に係わることになると思ってたのですが、実際は網側、コアネットワーク部の運用セクションに配属になりました。

具体的には、ネットワークセンター内にある、交換機やその他サービスノード系通信設備の運用担当チームに配属され、KDDIとの統合後も携帯電話事業のみでなく、KDDIの固定中継電話の設備も含めてKDDIの電話交換網の東北エリア部分全ての運用を担当しています。

冒頭にKDDIエンジニアリングサービスの・・・と紹介させていただきました。この通称K-テクノと呼んでいるこの会社、通信設備の運用・保守全般、電設工事、人材派遣等を行うために2005年4月にKDDIの100%出資の子会社として誕生しました。

発足してまだ2年足らずの出来立てホヤホヤの会社です。

今までに培ったKDDIネットワークの運用ノウハウをビジネスにしよう！という目的で設立された新しい会社なのですが、今の自分は、この会社にKDDIから出向して仕事をしてます。

仙台は40名程度の小さい事業所ですが、扱う範囲は大きく、4つの携帯電話の無線アクセス網、移動体のコアNW、固定中継電話網（IP網化）、伝送路システム、通信網でもっとも重要なインフラである電力、空調設備の運用・保守を行っています。

だいたい5－6名のチームでそれぞれを担当しており、多忙ながらも和気藹々とした、それでもシステム障害や災害時はピリっとした緊張感で徹夜しちゃうような、メリハリがあるいい職場です。

業界に対しての挑戦者の心持ちで頑張ってます。

さて、後輩へのメッセージとして、今日この場で何について話をしようかととても悩みました。その中で、卒業後今まで7年間について振り返り気づいた、メンタル面での重要なことについてお話します。

社会人としての1番重要な心持ち、それは積極性じゃないかなと思います。

学生時代は、どうしても受動的な行動をとりがちですね。今日のこの場も、しょうがなく聞いている人が多数だと思います。単位とるために授業を聞く、テストだから勉強する、やらなきゃならないからしょうがなくやる。これじゃまずいんですよね。

仕事をして、与えられたことだけやる。これじゃ面白くないし、ただできる人はえらくありません。自ら行動し、できた人がえらいんです。

人とのコミュニケーション、新しい出会い、新しい技術の習得、当然、仕事自体に対して、自ら行動をとらないと何も得られないと思ったほうがいいです。

よく、「人間の能力の差なんかあって数倍、ただしやる気の差は何十倍、何百倍にもなる」なんて言われますよね。

私が今日の事について打診を受けたときも、正直「面倒だな、恥ずかしいな」という気持ちが先行しました。断ることは簡単ですが、そこで断ってしまうと、何にもならないんですよね。高専の現状を見ることはできず、同窓会の役員さんとお知り合いになる機会をなくし、めったにない人前で話す訓練もできない。失うものはないような気がしますが、実は大きな機会損失です。

社会人になったら、ほんの少しだけ今より積極的になってみてください。

同窓会ガイダンスということですので、自分と同窓会一同窓生とのつながりについて。実は、学生時代よりも、社会人になってからのほうが、「電波」を感じると思います。

きっと社会にでてからさまざまな形で電波の同窓生の方と出会い、とても良く面倒を見てもらうことに

なと思います。不思議なことに「仙台電波」ってだけで 不思議な信頼関係が生まれるんですよね。なぜか安心します。

同窓会の集まりもいくつかありますので、積極的に参加してみてください。私も昨年はちょっとした縁があつて、在仙交流会、同窓会総会へ参加してみたのですが、年配の同窓生の方々にもよくしてもらい、思った以上に楽しい時間がすごせ ました。

皆さんも卒業と同時に同窓生の仲間になります。遠慮する気持ちは置いて、是非、同窓生との交流に参加してみてください。

卒業まであと残りわずか、卒研の追い込みなんかで大変な時期と思いますが、学生生活を十分楽しんでください。